

全校読書会(2.10.1)

昨日(10/1)、全校で優れた文学作品の朗読を聞く全校読書会を実施した。

「よだかの星」(宮沢賢治/著)のCDを聞いた。

「統一感があってよかったです。1つの作品をクラス皆で聞き、同じ話題で花が咲きました。」「ストーリーの解釈が難しかったです。」「よだかが浮かばれないなと感じました。理不尽な気持ちです。やはり勧善懲悪の世界がすっきりします。」と生徒の弁。

耳を鍛えること、これからも意識していこう。

